

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	80	鉄道網整備促進経費	01	01	一般会計
基本施策	49	広域的な道路・交通環境を整備する	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			06	06	企画費
担当部課名		企画振興部企画調整課	06	102	地域振興経費
作成者氏名	山下 章光	連絡先	内線2115	06	鉄道網整備促進経費
			細々目		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)	
近鉄伊賀線の存続と利用促進活動 関西線佐那具駅業務の委託 リニアエクスプレス建設促進 JR草津線複線化		伊賀線・利用促進を図り、路線を存続することで、通学利用者や交通弱者の移動手段を確保するとともに、伊賀市を訪れる観光客などの利便を提供する。 地元区民らが佐那具駅を運営することで、駅の美化などの取り組みを通じた地域の活性化を。 リニア中央エクスプレスの建設を促進する。 伊賀北部地域と京滋を結ぶ草津線を複線化して、京都・大阪方面への利便を向上させる。	
本年度事業内容	沿線自治会などで組織する近鉄伊賀線活性化協議会へ委託して、利用促進等の伊賀線活性化事業を推進する。また、近鉄伊賀線に関する研究会を開催して、新会社への移行などを研究検討する。 関西線の利用促進と地域ぐるみで駅を守る活動を通じて地域を活性化するため、西日本旅客鉄道株式会社から市が受託している佐那具駅の業務を外山区民で組織する佐那具駅構内営業運営委員会へ委託する。 リニア中央エクスプレスの建設促進について、県及び関係自治体で構成する建設促進期成同盟会により、国及び東海旅客鉄道株式会社へ要望活動等を実施する。 伊賀市の北玄関である柘植から京都方面への利便向上を図るため、滋賀県内沿線自治体とともにJR草津線の複線化を促進する。 関西線利用客の満足度向上のため、伊賀上野駅トイレの管理を行う。		
開始年度	伊賀線 H17 佐那具駅 S58	終了年度 平成	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1.2	1.2	1.2
人件費合計(A)	8,640	8,640	8,640
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	4,560	5,558	79,500
委託料	4,560	4,404	4,500
その他		1,154	75,000
合計(A+B)	13,200	14,198	88,140
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財	1,629	1,600	1,600
一般財源	11,571	12,598	86,540
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値	
		H17	H18	H19	H18	H19
佐那具駅乗車券等発券手数料	千円	1,264	1,260	1,260		1,260

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
		%			
			目標 ()		
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

近鉄OB雇用による経費節減、運賃改定の柔軟化などを図るため、H19年度を目途に上下分離方式による運行とする方向で協議を進めている。また、利用促進のため、17年度から近鉄伊賀線活性化協議会へ活性化事業を委託してギャラリー列車の運行などによる利用客増に取り組んでいる。
JR利用者の拠点駅であり、近鉄伊賀線との接続ターミナル駅である伊賀上野駅のトイレの維持管理を行い、関西線のイメージアップを図る。

評価	必要性	4	新会社による運行開始後も、飛躍的な利用者増が見込みにくい状況にあり、地道な利用促進活動を続ける必要がある。また、パーク&ライドやバスなどのアクセス改善についての検討を要する。	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	2		
	効率性	3		